

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：永島・澤村]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

令和5年度 病害虫発生予察情報 技術情報第6号

令和5年10月2日

島根県病害虫防除所

カキ炭疽病の発生状況について

カキ炭疽病の発病果が過去10年で3番目に多く、今後、降雨によって感染拡大が懸念されます。現地では発生状況を把握し、発病果の除去、薬剤散布など防除対策の徹底をお願いします。

1. 発生状況と今後の予想

1) 9月下旬の巡回調査では、8園中3園で発病が認められ、発病果率は0.5%（平年0.2%）と過去10年で3番目に多い（図1）。

今後、発生園では、二次伝染によって被害が拡大する可能性がある。

2) 中国地方1か月予報（9月30日～10月29日、広島地方气象台9月28日発表）によると向こう1か月の気温が高い確率が60%、降水量が平年並みの確率が40%であることから、本病の発生を特に抑制する要因とはならないと考えられる。

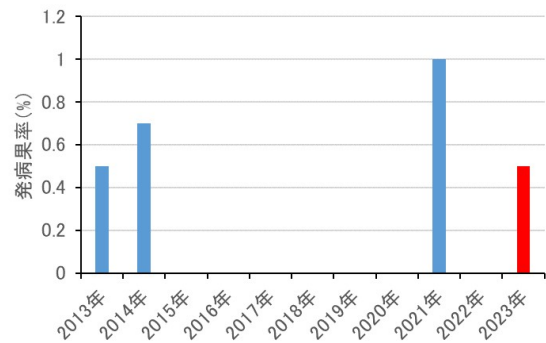


図1 カキ炭疽病の発病果率
（9月下旬調査）

2. 防除対策及び防除上の注意事項

1) 発病果（図2）は分生子を形成し、伝染源となるため、除去して園外へ持ち出し適切に処分する。

2) 発病果が認められた場合には、感染拡大防止のため、直ちに薬剤による防除を行う。すでに収穫が始まっている品種もあることから、収穫前日数や散布回数に注意する。

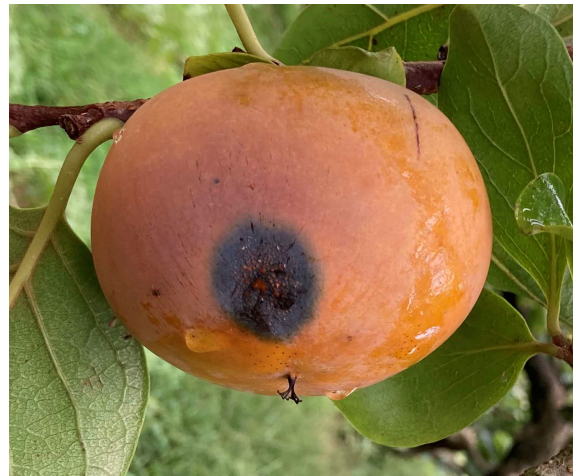


図2 カキ炭疽病 発病果